

あけまして
おめでとう
ございます



W
Power Alliance Tax Accountants Office
パワースタリオンズ税理士事務所
News

編集 発行人

パワースタリオンズ税理士事務所
税理士 若杉 治
〒151-0073
東京都渋谷区笹塚3-37-1
第1花井ビル2F
TEL 03 (5365) 4744(代)
FAX 03 (5365) 4745
E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

1月

(睦月) JANUARY

1日・元日 13日・成人の日

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	・

ワンポイント 青色申告特別控除の見直し

令和2年分以後の所得税から、青色申告特別控除のうち、正規の簿記の原則で記帳している場合の控除額65万円が55万円に引き下げられました。ただし、自宅等からのe-Taxによる申告（電子申告）又は電子帳簿保存をしている場合は、引き続き控除額が65万円となります。なお、10万円控除は変更ありません。

1月の税務と労務

- 国 税 / 給与所得者の扶養控除等申告書の提出
本年最初の給与支払日の前日
- 国 税 / 報酬、料金、地代、家賃等の支払調書の提出
1月31日
- 国 税 / 源泉徴収票の交付、提出
1月31日
- 国 税 / 12月分源泉所得税の納付
1月10日
(納期の特例を受けている事業所の7~12月分は1月20日)
- 国 税 / 11月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等)
1月31日
- 国 税 / 5月決算法人の中間申告
1月31日
- 国 税 / 2月、5月、8月決算法人の消費税の中間申告
(年3回の場合)
1月31日
- 地方税 / 固定資産税の償却資産に関する申告
1月31日
- 地方税 / 給与支払報告書の提出
1月31日
- 労 務 / 労働保険料の納付(第3期分)
1月31日
(労働保険事務組合委託の場合2月14日まで)

貸借対照表に 注目しよう

毎月貸借対照表の動きを確認している中小企業の経営者や幹部の方はどれくらいおられるでしょうか。損益計算書ばかり見ているでしょうか。

例えば、経理担当者に利益が出ているのに何でお金が足りないんだと文句を言っていますか。もちろん資金繰り表を作成してお金の動きを把握することも重要なことです。まずは貸借対照表の内容を確認することも非常に大切です。

経理担当者や会計事務所に任せず、経営者や幹部の皆さんも貸借対照表をきちんと理解しましょう。

I. 資産の動きに注目

貸借対照表に示された科目や残高には、それ自体とても意味があるのですが、この残高には必ず過程があります。まずは代表的な科目の過程に注目してみましよう。

1. 現金・預金

一番大事な貸借対照表の資産項目です。会社は現金で始まり現金で終わるといっても過言ではありません。

いくら利益が出ていてもお金が減少していることもありまが訪れます。「現金・預金」残

2. 売掛金

高は常に増加傾向が望ましいですが、減っている場合には何故そうなったのか原因や過程を確認する癖をつけておきましょう。

貸借対照表の資産項目です。製品・商品の販売やサービスの提供など、企業の主たる営業取引から発生する未回収のもので通常一年以内に現預金で回収が見込まれるものです。利益が出ていても、この残高が増えている場合にはお金が足りなくなる可能性もあります。少しでも増えてきていけば過程を確認し、いつ発生したものか、本当に回収できているかを確認する癖をつけておきましょう。

3. 借入金

貸借対照表の負債項目です。まずは、金融機関からの借入金なのか、役員からの借入金や関係会社からの借入金なのか把握しておく必要があります。できれば役員からの借入金は、役員借入金、関係者からの借入金等科目を区分しておくとういでしょう。

4. その他

さて、残高を確認したときに、借入金三千万円と記載されているとします。この残高はもちろん重要ですが、いつ発生したもののかの過程がさらに重要となります。一年前には五千万円であって二千万円返済して三千万円になったのか、あるいは資金繰りで足りなくなり三ヶ月前に三千万円借りたものなのか。どちらも結果は残高三千万円です。

貸借対照表の数値を眺めているだけでは、本当の姿は見えませんので、過程を必ず確認するようにしましょう。

上記1〜3及びその他の科目に共通することですが、動きに注目すると同時に着目していく方がよい点があります。

それは、①本当に存在するものか、②価値はどれくらいのものか、③誰のものか、の3点です。

① 本当に存在するものか
例えば、既に退職している連絡のとれない従業員への立替金や仮払金、過去粉飾して

いた場合の売掛金や棚卸資産の残高、既に解約済みの保険積立金等が計上されていません。

② これらの資産が計上されていると見栄えはよい貸借対照表になっていきますが、実際には存在していないもので錯覚をおこしてしまいます。逆に債務も同様です。税務上とも絡みますが計上されていても常に注視しておきましょう。

③ 現在の価値はどれくらいなのか
土地や有価証券等は実際には値下がりして半分の価値もないかもしれません。このように①と違って現在ある資産は、本当はどれだけの価値があるのかを概算でも把握しておくのも重要です。

③ 誰のものか
資産だから全て自社のものだと思っていまいませんか。借入して購入しているものや、担保に取られている場合、あるいはリース資産等は自社のものでしょうか。実際には、自社のものでないかもしれせん。

結局、資産が増えていても自社の努力が増えていない可能性もありますし、そのように考えることも非常に重要です。

II. 貸借対照表の経営指標

貸借対照表の数値のみで分析する経営指標も非常に重要です。実際の会社の数字を分析してみても経営の状態を分析してみましょう。

1. 純資産

純資産とは、会社の総資産から総負債を差し引いた純粋な資産価値のことです。言い換えれば資本金+過去積み上げてきた利益の合計と言えます。

中小企業の場合は、会社の売買価値と考えても差し支えありません。もちろん「純資産」残高は常に増加傾向が望ましく、最低でも横ばいをキープすることが大切です。

2. 当座比率

当座比率は企業の支払能力を示す経営指標です。

当座比率は、一年以内に現金化される流動資産の中でも換金性の高い現金、売掛金、受取手形等の当座資産と一年以内に支払期限が到来する流動負債を用いて算出し、優良水準は一二〇%と言われています。

算式・当座比率Ⅱ（当座資産／流動負債）×一〇〇

3. 流動比率

流動比率は会社の支払能力を示す経営指標です。流動比率は、一年以内に現金化される流動資産と一年以内に支払期限が到来する流動負債を用いて算出し、一五〇%以上が望ましいです。

算式・流動比率Ⅱ（流動資産／流動負債）×一〇〇

4. 固定比率

固定比率は購入した固定資産が自己資金でどの程度まかなわれているかを示す経営指標です。

固定比率が小さければ自己資本の占める割合が大きく、固定比率が大きければ自己資本の占める割合が小さいということに

なり、一〇〇%以下が望ましいです。

算式・固定比率Ⅱ（固定資産／自己資本）×一〇〇

5. 負債比率

負債比率は返済義務のない自己資本と返済義務のある負債（他人資本）のバランスを示す経営指標です。

負債比率が小さければ返済余力が高く、負債比率が大きければ返済余力が低いということになります。一〇〇%以下が望ましいです。

算式・負債比率Ⅱ（負債／自己資本）×一〇〇

6. 自己資本比率

自己資本比率は会社の総資本（負債の部+資本の部の合計）に占める自己資本の構成比率のことで、会社の資本力や安定経営の度合を示す経営指標であり、優良水準は五〇%以上です。

算式・自己資本比率Ⅱ（自己資本（純資産）／総資本（負債の部+資本の部の合計））×一〇〇

オフィスの防寒対策

一年で一番寒い季節がやって来ました。オフィスワーカーの皆さん、仕事上の防寒対策はどのようになさっていますか。

エアコンがないというオフィスはほぼないでしょう。しかし、設定温度は会社によっては決められている場合もあり、また人それぞれ適温は違うものです。

特に一日中パソコンに向かって座りっぱなしの場合、体全体が凝り固まり、血行も悪くなって余計に冷えてしまいます。冷えを我慢し続けることは体にも良くなく業務効率を下げます。企業としても早めに働きやすい環境を整えましょう。

〈体を外側から温める〉

寒さは大体足元から感じるものです。足元を温めるグッズをご紹介します。

- ・足元ヒーター

床に置いて足を乗せるもの、机の裏側や引き出しの側面に張り付けるパネル型のもの、

の、コの字型の薄いパネルを立ててひざ下全体を温めるもの等、様々な形があります。

- ・ひざ掛け、座布団

USB電源で発熱するタイプのものがより暖かくおすすめです。

- ・カイロ

使い捨てカイロもありますが、最近は充電式カイロが色々出ていておすすめです。表面温度が選択できるものもあり、かじかむ指先を温めてくれます。

〈体を内側から温める〉

温かい飲み物で体を内側から温めましょう。ただし、コーヒーや緑茶など体を冷やす飲み物もあります。紅茶やウーロン茶、生姜湯等の体を温める飲み物を選びましょう。

〈体を動かす〉

時々立って、ストレッチで凝りやすい肩回りをほぐしたり、ふくらはぎを伸ばしたりして血行を良くするようにしましょう。寒さ対策になるだけでなく、気分がすっきりして仕事もはかどりますね。

手書きのメッセージ

冬は、年賀状や寒中見舞などのやり取りで普段よりも人とのつながりを感じる時季です。どんなに年賀状を送ろうかあれこれ考えたり、思いがけない方から年賀状が届いて驚きつつも嬉しく感じたり……。特に、その中に一文でも手書きのメッセージがあると、よりその方の心が伝わってきます。例えば、職場に送られてくる書類でも時候の

挨拶やねぎらいの言葉などが手書きで添えられていると大変印象に残り、嬉しい気持ちになります。機会がありましたら、皆さんも手書きの手紙やメッセージを送ってはいかがでしょう。気持ちが伝わりビジネスチャンスが広がると思います。

国民の祝日

令和2年、2020年が始まりました。今年はいくつかの国民の祝日の変更となります。

まず、お代替わりにより天皇誕生日が2月23日となります。今年は23日が日曜日のため、月曜日が振替休日です。

また、東京オリンピック・パラリンピック等の開催に伴い、例年7月の第3月曜日にあたる「海の日」は、オリンピック開会式前日の7月23日に、10月の第2月曜日にあたる「体育の日（令和2年以降、スポーツの日と名称が改められます）」は開会式当日の7月24日に、さらに8月11日にあたる「山の日」は閉会式翌日の8月10日に変更され、こちらは4連休・3連休となります。

企業にとっても従業員の出勤日の調整が必要かと思います。1年間の予定をあらかじめ決定して経営に穴があかないように注意が必要です。